



令和4年度

第11回 吹田市地域公共交通会議

試験運行のアンケート結果

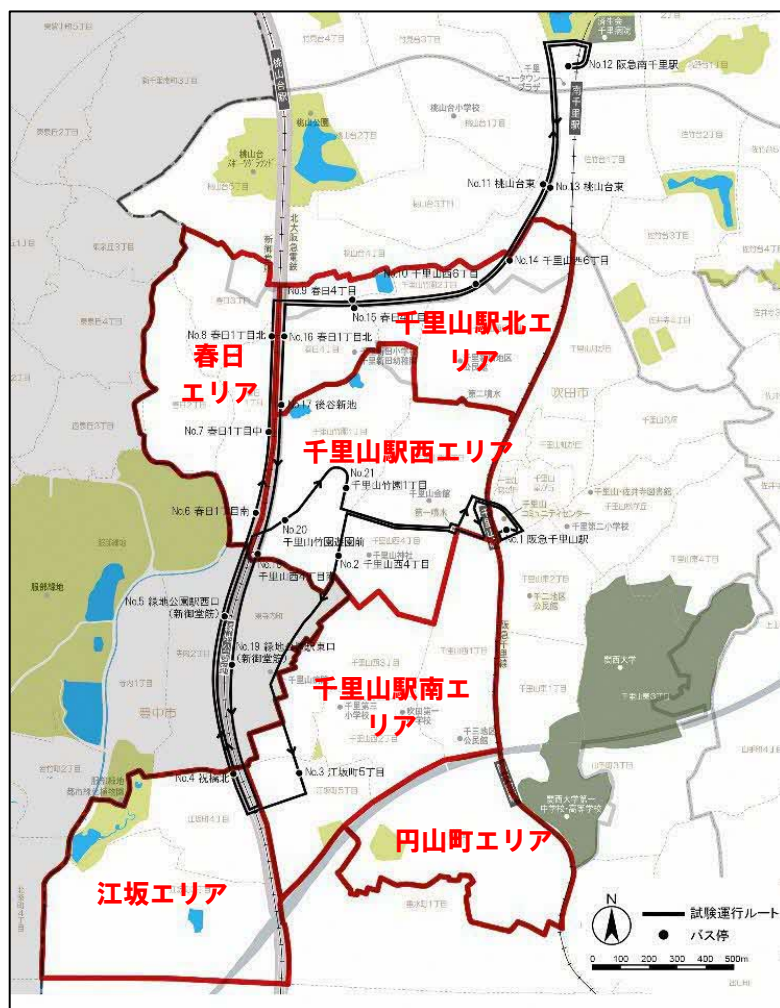
吹田市

試験運行のアンケート調査結果

1



- 第10回(令和4年11月18日)地域公共交通会議において、利用者アンケート及び住民アンケートからルート、バス停の配置間隔については、概ね良好であることを委員の皆様にご確認いただいた。
- 今会議では、住民アンケートを中心に地域別、一部年齢別にクロス集計し、地域別の傾向を確認し、運行内容の改善点を検討することとした。



居住地		
千里山西1丁目 千里山西2丁目 千里山西3丁目 江坂町5丁目	千里山駅南エリア	151
江坂町3丁目 江坂町4丁目	江坂エリア	111
千里山西4丁目 千里山西5丁目 千里山竹園1丁目(千里新田小学校区を除く) 千里山竹園1丁目25番～28番	千里山駅西エリア	170
千里山西6丁目(桃山台小学校区を除く) 千里山西6丁目58番～64番 千里山竹園2丁目(桃山台小学校区を除く) 千里山竹園2丁目8番4号 千里山竹園2丁目17番～25番 春日4丁目(桃山台小学校区を除く) 春日4丁目20番～99番	千里山駅北エリア	209
春日1丁目 春日2丁目 春日3丁目(桃山台小学校区を除く) 春日3丁目17番～20番	春日エリア	125
円山町	円山町	39
分類不可 不明 無記入	居住地不明	51

試験運行バスの利用について

2



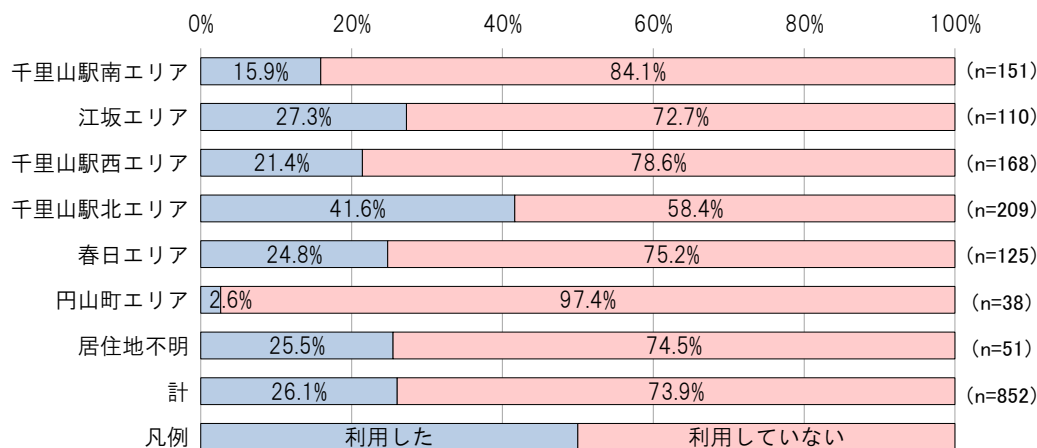
問2

- バスの利用の有無では、「利用した」との回答は26.1%と回答者の約4分の1であった。
- エリア別でみると、バス路線が重なる千里山駅北エリアが41.6%と多くなっている

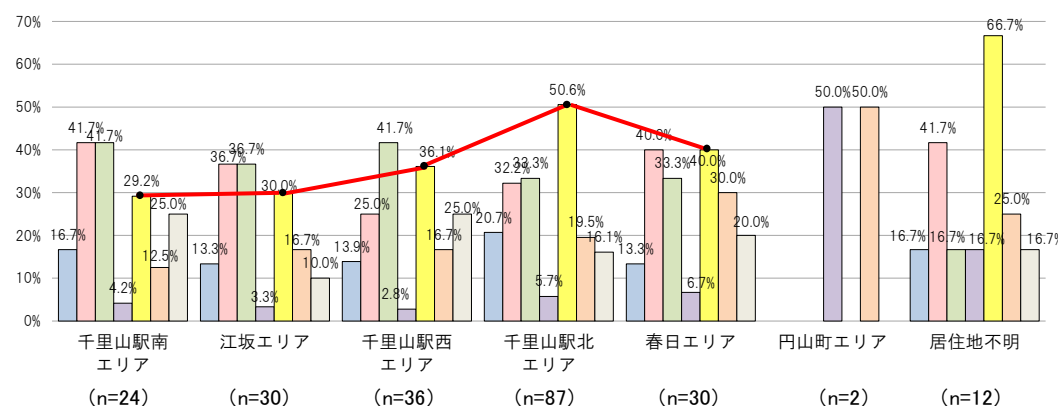
問3 (3)

- 千里山駅南エリアと江坂エリアでは「外出する意欲が増えた」や「外出の行き先が増えた」が同等となっており、千里山駅西エリアでは「外出の行き先が増えた」と「外出時の歩行に伴う不安や困難が軽減した」が多い。
- 千里山駅北エリアでは「外出時の歩行に伴う不安や困難が軽減した」との回答が多く、春日エリアでは「外出時の歩行に伴う不安や困難が軽減した」と「外出する意欲が増えた」が多い

問2. すいすいバス（たけのこルート）を利用しましたか。



問3. (3) このバスの運行で、あなたの外出に何か変化はありましたか。



凡例

- 外出の回数が増えた
- 外出する意欲が増えた
- 外出の行き先が増えた
- 歩く機会が増えた
- 外出時の歩行に伴う不安や困難が軽減した
- 以前と変わらない
- その他

試験運行バスについて

3



問4

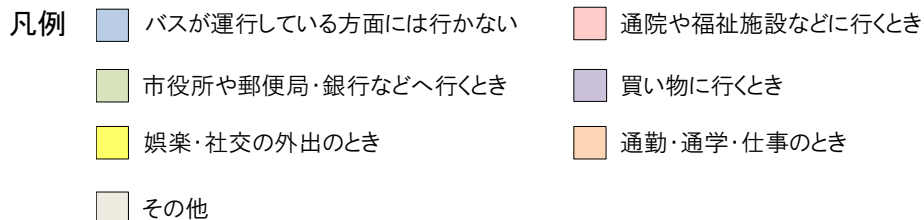
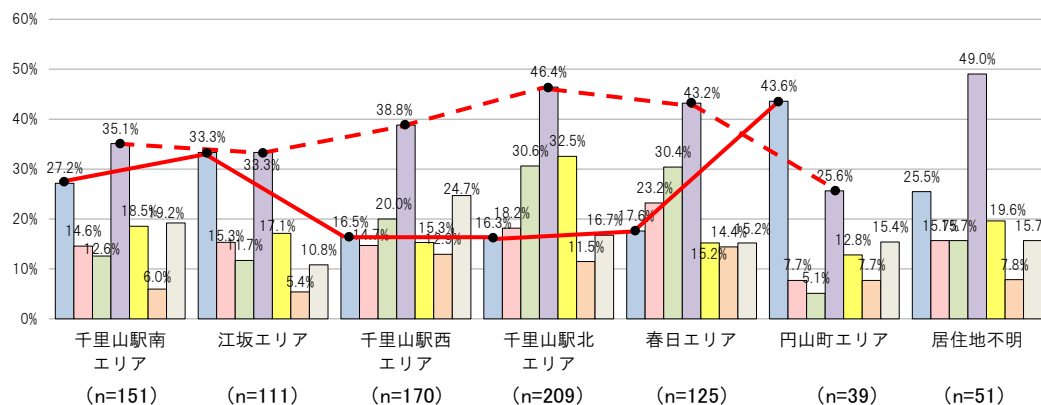
- 基本的にどのエリアも「買い物に行くとき」の回答が多かった。
- 江坂エリアでは「バスが運行している方面には行かない」と「買い物に行くとき」が同等となり、円山町エリアでは「バスが運行している方面には行かない」の回答が多かった。

問5

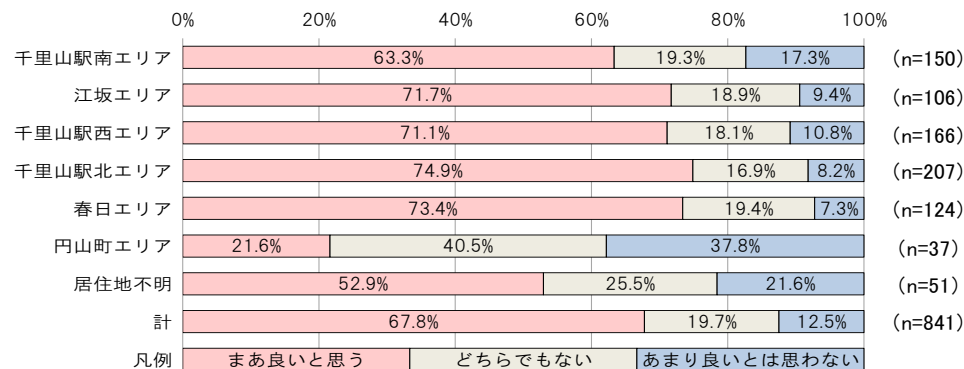
①
・
④

- 運行内容については、エリア別でみると、運行ルートと重ならない円山町エリアではルートに関しては評価が低いですがそれ以外では、「どちらでもない」との中間的な回答が多くなっている。
- 運行本数に関しては、千里山駅西エリア、北エリア、春日エリアでは「まあ良いと思う」が50%弱と他の設問より評価が低くなっている。

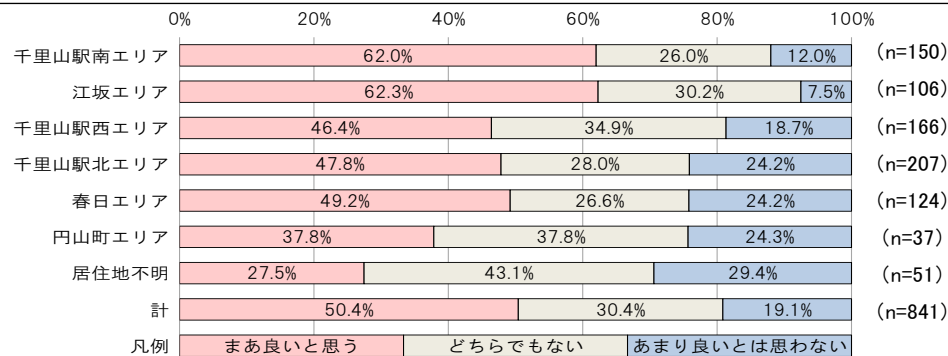
問4. バスの利用目的及びバス路線沿線への用事の目的



問5 ①運行ルートについて



問5 ④運行本数（便数）について



試験運行バスについて

4



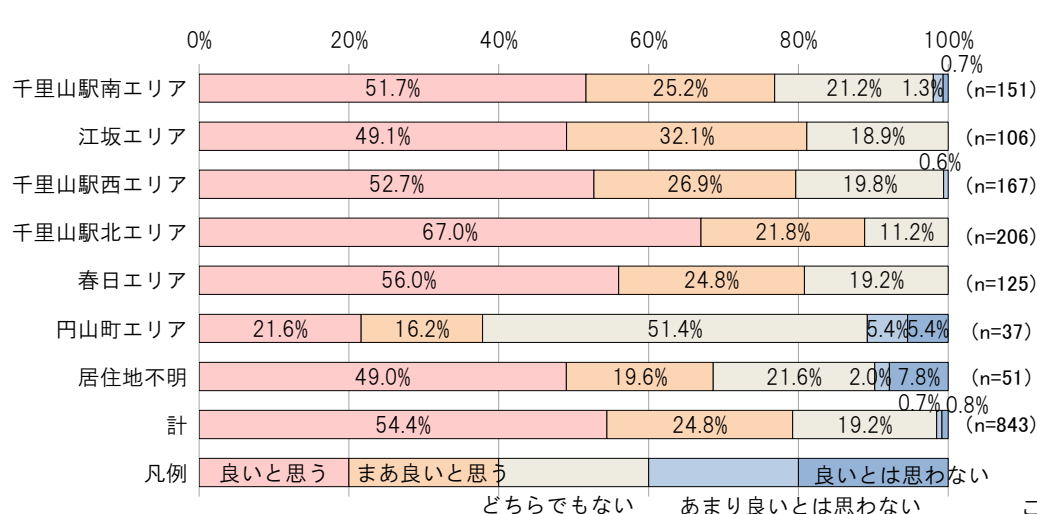
問6

- バス路線のない円山町エリア以外のエリアでは「良いと思う」が半数又はそれ以上と高く、「まあ良いと思うを合わせると8割の方が運行されてよかったとの回答であった。
- 千里山駅北エリアでは、運行が開始されて良かったと思うが約7割と高い。
- 運行ルートを持たない円山町エリアでは、「どちらでもない」が半数であった。

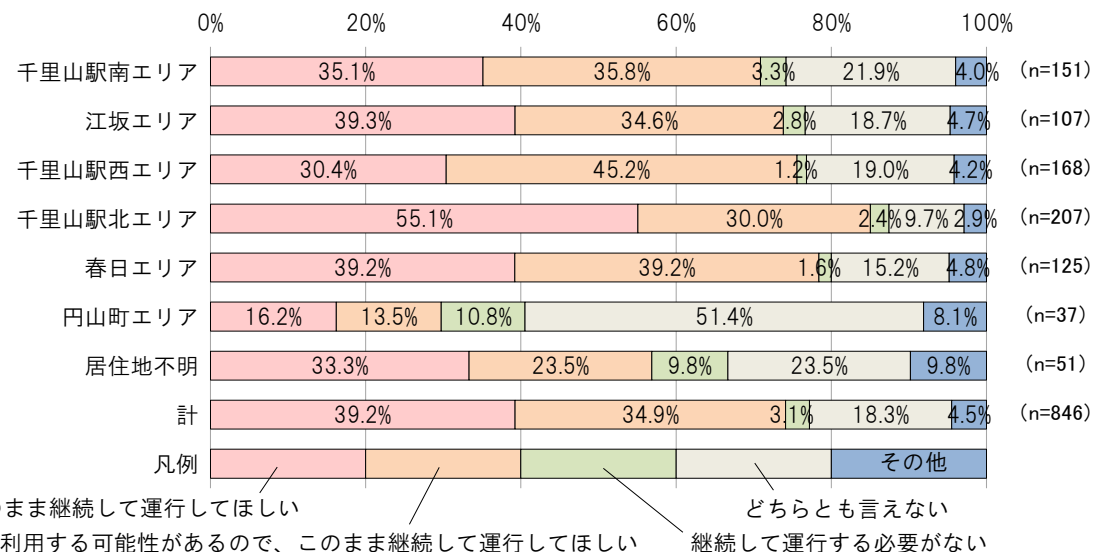
問7

- バス路線のない円山町エリアでは「どちらとも言えない」が5割となっている。
- それ以外のエリアにおいては「このまま継続してほしい」は約3割、「将来利用する可能性があるなのでこのまま継続して運行してほしい」を合わせると半数以上が継続して運行してほしいとの回答であった。
- 千里山駅北エリアでは、「このまま継続してほしい」が55%と高くなっている。

問6. バスの試験運行が開始されたことについて



問7. バスの運行の継続について



試験運行バスについて

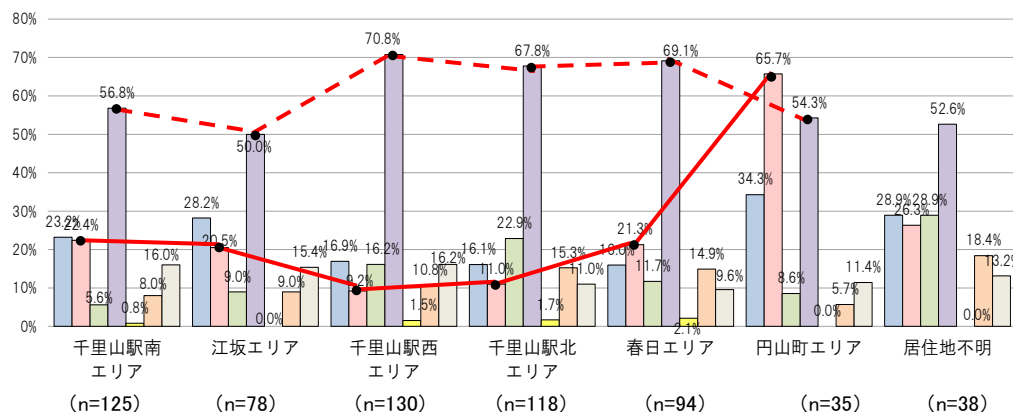
5



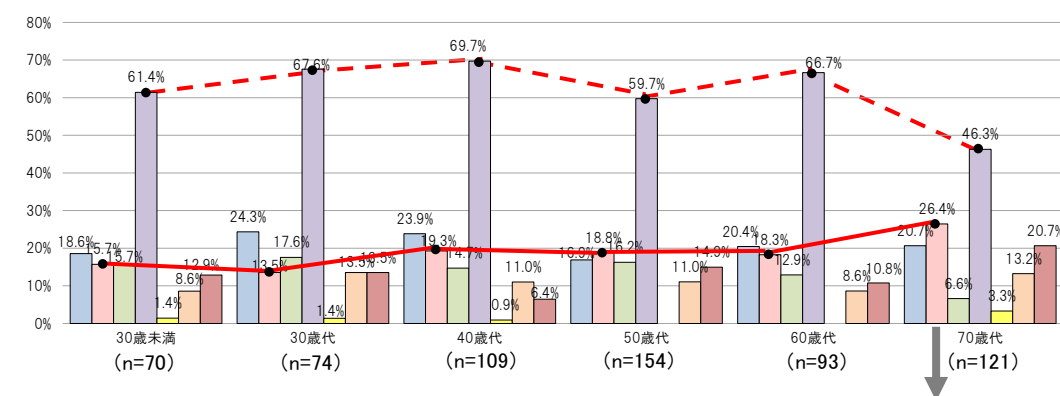
- ・エリア別、年齢別でも「バスを利用しなくても、車、バイク、自転車、徒歩等で移動できるから」の回答が圧倒的に高い。しかし70歳代は他の年齢に比べ低い値を示している。
- ・「自宅から最寄りの停留所まで遠いから」は年齢に比例し、高くなっている。
- ・円山町エリアでは、「自宅から最寄りの停留所まで遠いから」が高くなっている。

問9. バスを使用しない理由について

エリア別

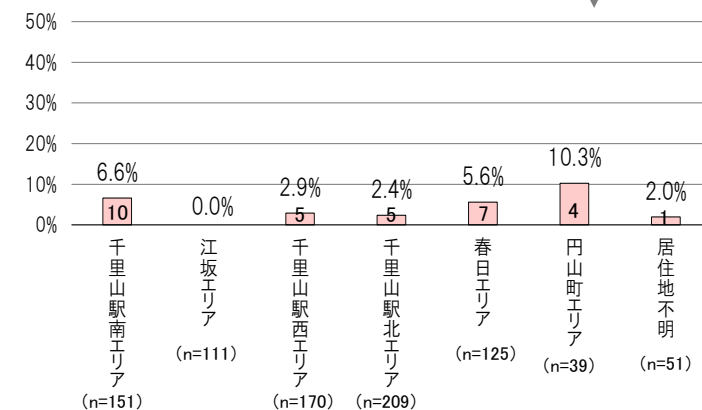


年齢別



凡例

- 行きたい方面にバス路線がないから
- 自宅から最寄りの停留所まで遠いから
- 利用したい時間にバスがないから
- バスを利用しなくても、車、バイク、自転車、徒歩等で移動できるから
- バスを利用したいが、一人での乗り降りが不安だから
- 料金が安いから
- その他



※上記の割合は、各70歳代以上で「2. 自宅から最寄りの停留所まで遠いから」を回答した人を各エリアの回答者数で割って算出した割合



- ① バスの利用の有無に関係なく、バスが試験運行されてよかったと喜ぶ声が多く、それが高評価につながっていると思われる。
- ② そのため、現段階では大きな運行内容の変更を求める声は少ないが、意見として挙げられている要望などについては、可能な範囲で改善の検討等を行っていく必要がある。
- ③ 利用をしていない方でもバスの運行路線へは買い物などで行く可能性があることから、今後、バス以外の移動手段が利用できなくなった場合は、利用してもらえる可能性は高いと言える。
- ④ 現在、利用している人には、利用の定着を図るとともに活用できるような取組みや情報提供を行うこと、住民アンケートの4分の3は「利用していない」との回答であったことから、アンケートエリア内で、かつ運行ルートとの重なりが多いエリアについては、利用を図る取組みを進めていく必要がある。